



12/7 夢への一歩に向けて 先輩創業者と語る会「創業せんぱい図鑑」

先輩創業者と語る会「創業せんぱい図鑑」(北上市産業支援センター主催)は、hoKkoで初開催されました。第1回の講師は、二子町で手作り総菜を提供するなないろキッチンの八重樫優美さん(42歳)。出産してから創業に至った経緯や現況などを紹介し、「創業を考えている人には不安があると思うけれど、私の話を反面教師にして役立ててほしい」と話しました。参加者は積極的



12/8 思いを伝えるメモ活用術 2024きたかみカレッジ

2024きたかみカレッジは、生涯学習センターで行われました。講演したフリーアナウンサーの相模詩織さんは「日常生活からメモを取り、頭の中を可視化すること」などの必要性を自身の経験を交えて語りました。聴講した相坂奈津樹さん(相去町・29歳)は「人のためにどう行動したら良いか聞くことができた。メモから思考を整理して、言語化につなげたい」と話しました。

12/6 熱い思いを胸に活躍を誓う 全国大会出場の専北高3部が表敬訪問

全国大会への出場を決めた専大北上高校男子サッカー部、女子サッカー部、吹奏楽部の部員らは、市庁舎を訪れ、市長と副市長に抱負を語りました。男子サッカー部の成田大悟主将は「県代表として素晴らしいプレーをする」、女子サッカー部の大野妃菜主将は「チーム目標のベスト4入りを目指す」とそれぞれ発表。吹奏楽部の佐々木美沙部長は「お客さんが楽しめる演奏を届けたい」と意気込みました。



12/8 子育てのヒントと楽しい体験が大集合 きたかみ子どもフェスタ2024

きたかみ子どもフェスタ2024は、hoKkoで開催され、多くの親子連れでにぎわいました。子育てに関するさまざまなワークショップなど約30のブースが集結し、多彩なプログラムを展開。ミューズコーラス隊によるパフォーマンスなども行われました。菊池瑛太君(やさか幼稚園・5歳)と弟の鳳太君(同・3歳)は応急手当ての体験やキッドピクスなどに挑戦。「どれも楽しかった!」と目を輝かせていました。



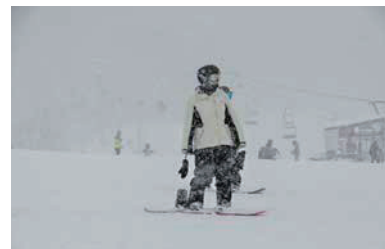
まちの話題

市内の話題を紹介



11/25 全国の舞台で努力が結実 黒北小吹奏楽部と合唱部が快挙

第30回日本管楽合奏コンテスト全国大会で優秀賞を受賞した黒沢尻北小学校吹奏楽部と、第77回全日本合唱コンクール全国大会で金賞および郡山市長賞に輝いた同校合唱部の部員らは、船田教育長に受賞を報告しました。吹奏楽部の佐藤妃夏部長(6年)と三浦歩莉副部長(同)は「練習の成果を発揮できた」と報告。合唱部の鈴木紅葉部長(同)と小田島理沙副部長(同)、部員の高橋夏寧さん(同)は「悔いのない合唱ができた」と語りました。



12/1 県内一番乗り 夏油高原スキー場がOPEN

日本有数の積雪量を誇る夏油高原スキー場は、県内トップを切ってオープンし、待ちわびたスキーヤーやスノーボーダーらがパウダースノーを楽しみました。8日は粉雪が降り続く中、今シーズン初めて全コースが開放され、 Gondolaとリフトもフル回転。山形県東根市からスキーをしに来場した名取芳春さん(62歳)は「夏油はオープンが早く、シーズン初めによく来ている。今日は感触がよく最高だ」と満足していました。

11/23 もの作りの楽しさに触れる 第11回エコ・ものづくり体験まつり

第11回エコ・ものづくり体験まつりは、ハートバルきたかみで開催されました。せっけんやクリスマスリース・ツリー作りなど19もの多彩な体験コーナーが出展。また、お菓子のつかみ取りも行われるなど、多くの家族連れでにぎわいました。万華鏡作りに挑戦した佐々木陸君(大通り保育園・5歳)は「上手にできた。面白い!」と満足そうに何度ものぞき込んでいました。



11/25-29 人材確保にインド人の採用を検討 北上工業クラブ主催インド経済視察

北上工業クラブ(佐藤満義会長)主催のインド経済視察は11月25日から29日の5日間、行われました。同クラブ会員企業のほか八重樫市長ら総勢25人が参加。ニューデリーの日本語学校兼送り出し機関、製造現場などを訪問し、外国人労働者の受け入れの可能性や販路開拓などを探りました。視察に参加した市産業雇用支援課の堀田紋世主任は「外国人が孤立しない仕組みづくりが必要」と考察しました。

